

## 行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	総合科学技術会議の主体的な国際活動	事業開始年度	平成14年度	作成責任者		
担当部局	政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当)	担当課室	参事官(国際担当)	加藤 善一		
会計区分	一般会計	上位政策	科学技術政策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	科学技術基本法(平7法130)、 内閣府設置法(平11法89)第26条	関係する計画、 通知等	第3期科学技術基本計画 (平成18年3月28日閣議決定) 「科学技術外交の強化に向けて」 (平成20年5月19日総合科学技術会議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術外交の強化等に資するための、科学技術政策担当大臣による国際的な科学・技術政策の推進、及び総合科学技術会議議員等による各国との科学・技術政策対話の実施を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術政策担当大臣と各国閣僚との政策協議を行う。また総合科学技術会議有識者議員の各専門家との政策対話を実施する。</li> <li>各国の科学技術政策担当閣僚を招聘し政策対話のための会議を開催する。</li> <li>開発途上国との科学技術協力を目指した政策対話を推進する。</li> </ul>					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術政策担当大臣の各専門家との政策協議、国際会議出席等(6件、延べ19名)</li> <li>総合科学技術会議有識者議員の各専門家との政策対話、国際会議出席等(4件、延べ6名)</li> <li>国際科学技術大臣会合の開催(平成21年10月京都にて開催。世界各国から22カ国参加)</li> </ul>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	60	66	62	48	35
	執行額	29	45	25		
	執行率	48%	68%	40%		
	総事業費(執行ベース)	29	45	25		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	十分に把握している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>会議に必要な経費、関係者への会議出席等のための支払いは規定に従い会計担当部門が直接実施しており支出先・使途を十分に把握している。</li> <li>速記等一般競争入札を実施したものは、経費内訳を含め支出先・使途を十分把握している。</li> </ul>				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き国際会議開催については、事前の情報収集等を綿密に行い、限られた予算の中でより効率的かつ有益な内容とする。</li> </ul>				
予算監視の所効見率化	総事業費のうち大半を占める諸謝金・旅費について、出張時の割引航空運賃の活用や事務費の節減等、更なる効率化に努めるとともに、会議開催実績等を踏まえ、予算額の削減を含めた事業内容の見直しを図るべき。 特に、国際科学関係大臣会合の各国出席者の旅費負担等については廃止も含めた抜本的な見直しを図るべき。					
補記						



